

【評価実施概要】

事業所番号	195000039		
法人名	有限会社ライジング		
事業所名	グループホームはるる		
所在地	〒099 - 1403 訓子府町字穂波67番33 0157 - 47 - 4881		
評価機関名	特定非営利活動法人福祉サービス評価機構Kネット		
所在地	〒060 - 0061 札幌市中央区南1条西5丁目7愛生館ビル601B		
訪問調査日	平成21年12月16日	評価確定日	平成22年1月5日

【情報提供票より】(21年11月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 18年 9月 7日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18人
職員数	21 人	常勤	15人, 非常勤 6人, 常勤換算 1.6人

(2) 建物概要

建物構造	木造		
	1 階建ての	1 階部分	

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	24,000 円	その他の経費(月額)	光熱水費14,000円他実費	
敷 金	無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	300 円	昼食	400 円
	夕食	400 円	おやつ	0 円
	または1日当たり		円	

(4) 利用者の概要(11月 1日現在)

利用者人数	18 名	男性	2 名	女性	16 名
要介護 1	6名	要介護 2	6名		
要介護 3	5名	要介護 4	1名		
要介護 5	0名	要支援 2	0名		
年齢	平均 86 歳	最低	77 歳	最高	95 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	訓子府クリニック 湯本歯科医院
---------	-----------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

昨年ユニット増設して2ユニットとし支援活動を広めた。周辺農地の環境にあってホームは居間・居室・トイレ・浴室などバランスよく配置され、介護上も利用しやすい条件を備えている。温湿・換気・採光などの配慮もあり、明るく居心地のよい環境を作っている。職員は訓練されて明るく丁寧な支援に努めている。また、家族会との連携や運営推進会議の意向を運営に活かしている。訓子府町の積極的な協力もあり、地域との密度の高い行事連携などで地域ぐるみの運営に努めている。

【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	特に指摘された改善事項はないが、夫々の課題について更なる向上を目的に職員相互が研鑽に努めている。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	自己評価の重要性に着目して全員が分担しながら評価に参加して、全体のサービスの向上と自らの資質向上のために活かしている。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	会議は概ね定例的に開催し、町・町内会・家族会・ボランティアなど多様なメンバーの参加があり、ホームの利用状況・職員の研修・行事等運営状況・事故実例や困難事例紹介など運営の実情を示して、委員の意見・助言を得て運営に活かしている。紹介実例・事故実例報告も課題を明らかにし職員の取組の過程を示し、優れた報告となっている。議事録も的確に記録して課題解決の取組の精度の高さが伺われる。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	月例通信を発行、他に個々の生活情報の通知・金銭管理の報告、家族の訪問時には主に担当者が立会い、相談に応え信頼に努めている。苦情の窓口対応方法や意見箱の設置・手続きの周知も図っている。また、運営推進会議や家族会の意向を吸収するよう努めている。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	町行政の積極的な支援が伺われる。ホームもボランティアの支援や活用、運営推進会議を通じた働きかけなど相互の取組が効果的な働きを示している。ホームによる子ども祭りにバザーを開設して利用者の作品を展示販売するなど効果を上げている。

2. 評価結果(詳細)

NPO法人 福祉サービス評価機構 Kネット

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	利用者が地域に馴染み地域の人々に支えられる独自の理念をつくり取り組んでいる。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念の下に職員が地域とが一体となって利用者の活動を支え、地域の人々と交歓できるような活動を進めるよう取り組んでいる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域行事への積極的な参加を心がけ、運営推進会議員も多様な活動参加者を迎えて、地域ぐるみの活動を進めている。町の子供祭りに利用者と職員・ボランティアの共同制作作品をバザー展示して市民との交歓の場とするなど大胆な試みを成功させている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	施設長・管理者はじめ職員全員が自己評価の重要性を認識して分担しながら評価に当たり、課題解決に取り組んでいる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議にはホーム運営上の利用者の動向・事故等の発生とその内容や解決過程・困難事例の紹介と対応・職員の研修状況などを示して概ね定例的に開催して、各委員の意見や指導を得て、運営に活かしている。</p>		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>町主催のケア・マネ会議（町内のケア・マネの集まり）や地域ケア会議があり、ホームの活動状況と共に町全体の活動状況を周知する機会となり、活動連携や協力関係が効果的に可能な条件を生み出している。</p>		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>毎月の「はるる通信」の発行によって、担当者から生活情報・健康状態・金銭管理等の情報と相談などを相互に交換出来るよう支援している。</p>		
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>意見箱の設置、運営推進会議員に家族会のメンバーの参加、家族が訪問時の相談と受止めの重視など家族の意向に応えた信頼関係を作るよう努めており、その成果を運営全体に活かそうとしている。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>ユニットでは職員を固定して馴染みの関係を深めるよう努めている。退職者の交代には細心の配慮や家族にも周知して新たな職員の訓練を重ねて、馴染みの対応に時間をかけている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	現場における現任訓練の重視、他の施設見学・職員研修機会への参加など研修の充実に努めている。		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	同業との交流には努めて参加して、サービスの向上に活かしている。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	初期相談にはサービスの内容・ホームの雰囲気・運営の流れを説明し、時には家庭や入所施設などに訪ねて入所前の生活情報の収集に当たるなど、納得と信頼関係を保つことが出来るよう努めている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	日常生活を共にしながら利用者個々の多くの生活情報を積み重ねて、新たな対応に努めるなど、相互の働きから学びながら新たな生活関係を築くことができるよう支援している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p align="center">. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</p>					
<p>1. 一人ひとりの把握</p>					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>利用者個々の生活歴や趣味・趣向、日常動作のリズムから一人ひとりの生活の思いや希望を学び、意向を捉えるよう、アセスメントに精を尽くした職員間での協議に努めて支援している。</p>		
<p>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</p>					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>担当制を基本にしながら、個々の生活課題を定例的に職員間で協議し、家族・本人の意向を尊重して介護計画を作成している。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>定期的な見直し作業は勿論、個々の心身の変化に合わせて即応的に、家族等に周知して介護計画の変更を実施している。</p>		
<p>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</p>					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>利用者の意向や家族の対応状況に合わせて特別な支援が必要なおときには外来受診や外出・外泊支援など臨機応変に対応をしている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	利用者個々のかかりつけ医との関係を可能な限り、密接な情報維持に努めて、相談・連絡を取り健康管理を徹底するよう努めている。		
19	47	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	本人の状況を基に、医療職や職員・家族と相談協議して終末期の対応を協議し、かかりつけ医との具体的な終末期の方向や方針をえて対応をしている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	利用者との日常的な声かけに始まり、生活上の支援態度に留意して誇りを損ねることのないような支援態度に努めている。記録の扱いや管理・保存についても留意している。		
21	52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	利用者本位を原則に、本人の意向や希望を捉え、個々の生活ペースやリズムに合わせた支援に努めている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	楽しみの一つが食事であり、個々の嗜好に応じた食事メニューを考えるとともに、食事の準備や後始末に職員とともに、皆で参加できる雰囲気や環境作りに努めている。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	ゆったりと入浴を楽しめる浴室が設備されており、利用者の個々の状況に合わせた弾力的な支援をしている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	ホーム内には利用者の作品が多様に展示されていて、一人ひとりへの配慮で、創作力や好みに応じた作業や手伝いなど楽しみながら出来る支援活動を行っている。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	閉じこもらない生活を基本にホームの畑や花壇作りに個々の参加を促し、散歩や買い物なども職員と一緒に楽しみの機会とするように支援している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	開放的で見守り重視の姿勢で臨み、家族の意見や理解に努めている。利用者に内鍵をかける方があり、家族の理解を得て安全処置をしている例もある。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>消防署の協力を得て2回の避難訓練を実施。また、町内会の斡旋で近隣の民家を避難所に指定してくれるなど、地域ぐるみの協力を得ている。</p>		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>個々の心身の状況と共に水分・食事摂取量・栄養状態の確認し、記録して調整に活かすよう支援している。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居間を中心に台所・居室・トイレ・浴室と機能的な配置、利用者の手伝いを含めた清潔環境、採光・温・湿度・音についての配慮などの管理に留意し、利用者の季節に応じた作品の展示など居心地よい生活の場作りに工夫を重ねている。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>家族の意向や相談しながら本人の馴染みある居室作りを促し、思い出や馴染みの調度品と共に生活を楽しめるよう支援している。</p>		

 は、重点項目。